

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区二番町 4-2 電設工業健康保険組合
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 TEL 03 (265) 0301 発行人 仲野 三郎

支部長就任のご挨拶

支部長 仲野 三郎



去る3月26日開催の支部会議におきまして、皆さまのご推せんにより、はからずも支部長に選任されました。浅学非才の私に、果してこの大役がつとまるか危惧するところですが、皆さま方のお力をお借りいたしまして、歴代支部長の卓越した手腕により、今日までに築かれました、千代田・中央支部の事業推進に精一杯努力する所存でありますので、よろしくご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご承知のように、当支部は開業会員数 166 名、勤務等企業内会員数 496 名と合せて 662 名の大支部でありますので、東京都社会保険労務士会の中核としてまた他支部の範となるよう努めてまいりたいと存じます。幸い去る1月16日「東京都社会保険労務士政治連盟」の千代田・中央支部の結成が図られましたので、政治連盟を通じまして、さらに社会保険労務士の活躍の場を拡げていくとともに、な

お一層の皆さま方の団結をお願いし、千代田・中央支部を盛り上げていきたいと存じます。

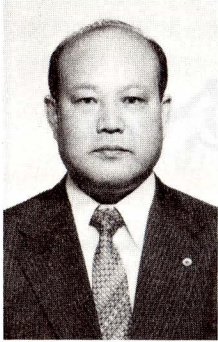
昨年は、法律改正等によりまして、社会保険労務士の地位向上が図られました。とりわけ、永年の悲願でありました「事務代理制度」が制定され、大きく飛躍しましたことは、労働社会保険制度の新しき幕明けと考えられ、社会保険労務士全体にとって責任の重大さと同時に、社会のニーズに応えるため、資質の向上等なお一層の研鑽が望まれるところであります。

当支部におきましても、今年度は、開業、非開業の区別なく、研修会等を通じて情報の交換を行い、会員の総意を汲み、会の運営に反映していき、この会が開かれた自由な立場から、意見交流ができるようにしていきたいと存じます。

最後になりましたが、会員の皆さまに役立つ会の運営を心掛ける所存でありますので、重ねて皆さまのご協力をお願いするとともに、ますますのご活躍と、ご発展を祈念して、挨拶いたします。

支部長退任のご挨拶

前支部長 新堀 英行



去る3月26日に開催された支部会議におきまして、役員改選が行われ、2年の任期を満了し、支部長を退任することになりました。はじめは、歴代の名支部長（須崎さん、小山さん、榊原さん）に引

き続き、支部長をお引き受けするにあたり、果して私のような若輩につとまるものかと危惧もし、大変不安でありましたが、幸いにして役員の皆様をはじめ、会員の方々の絶大なご協力をいただき、大過なく任期を全うできましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

当初、事務局能力を持たずに就任したために、特に事務局を引き受けられた長森先生、新井先生、総務委員長の雨宮先生をはじめ多くのみなさんに大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、また、あらゆる会議、研修の会場を提供してご協力下さった電設工業健康保険組合のみなさんに、この紙面をおかりして重ねてお礼申し上げます。

さらに、社会保険事務所、労働基準監督署、公共職業安定所、労政事務所等の関係官庁及び、職員の方々には、我々の趣旨をご理解いただき、適切なるご指導、アドバイス等ご協力を賜わり、支部運営をスムーズに行うことができましたことを、心から感謝申し上げる次第であります。

私にとりまして、この2年間は何にもかえがたい大変貴重な経験をさせていただいたわけで、今後の人生に大いに役立つものと考えるところであります。また同時に、役員として社会保険労務士会の運営にあたっておられる先輩諸先生のご苦勞の一端を理解できたような気がいたします。

千代田・中央支部の運営にあたりましては、開かれた支部を目指し、主目的である研修は目的別にその質、回数ともに多くの企画を持ち、他支部の会員にも門を開いて実施しており、また例会は、情報交換の場と意見具申の場であり多くの成果を得ているところであります。これらは当支部の規模（670人）のメリットであり、レベルの高さの証明と考えられるところであります。

その他、社会保険関係の算定基礎届時の相談員、5人未満事業所の適用拡大の巡回指導、労働関係の労働保険指導員、労働保険説明会の共催（監督署と毎月実施）、未適用事業所の適用拡大への協力、その他、商工会議所、都職業訓練校等への相談員、講師の派遣等、定例化したものの外多くの業務を手がけてきております。

また、支部の会員の和についてよくいわれるところでありますが、当支部にあっては、野球、ゴルフ等の同好会、仕事面での新規会員への相談業務（地区担当者）等を通じて、徐々にその成果も上ってきております。一方先輩会員のみなさん、ことに元会長、副会長、支部長といわれる方々を含めて、積極的に支部行事に参加し、支部を一層もり上げていただいており、このような後輩への暖かい配慮があったからこそ、支部運営も一層活発に行えたものと確信しております。

今回、仲野新支部長をはじめ新役員の方々が選出されましたが、幸い立派な実力者揃いであり。今後一層充実した支部運営が行われることを期待するとともに、会員のみなさまの今までに増してのご協力をお願い申し上げます。

さいごになりましたが、皆様方の益々のご健勝を祈念して、お礼と辞任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表

支 部 長 仲野 三郎 (265) 0301		監 査 手塚 和男 (551) 3523 千賀 綾二 (241) 5672	
副支部長			
乗田 芳信 (265) 7516 小口 隆明 (532) 1534	総 務 委員会	1. 会員の掌握, 連絡に関すること 2. 文書の起案, 発受信保管等庶務に関すること。 3. 関係官庁等渉外に関すること。 4. 金銭出納, 予算, 決算等会計に関すること。 5. 諸会議の開催。 6. その他, 他の委員会に属しない一切の事項に関すること。	委 員 長 古川泰一郎 (263) 1781 副委員長 榊原 昭夫 (265) 2611 " 雨宮 功 (863) 7633 委 員 田中 功 (264) 3438 " 山本 弘之 (263) 0931 " 新堀 英行 (254) 1955 " 長森 敏泰 (264) 6871 " 石原 健三 (294) 5307
田島 守 (544) 2882 相馬 誠一 (251) 5141	研 修 委員会	1. 研究会, 講習会等の企画・立案及び開催。 2. 社労士業務改善に必要な調査及び研究。 3. 社労士業務に必要な資料, 情報等の収集に関すること。 4. その他教育, 調査研究に関すること。	委 員 長 金綱 久夫 (291) 4167 副委員長 恩田 和明 (256) 4451 " 渡辺源一郎 (861) 7291 委 員 森萩 忠義 (255) 7665 " 松林 清雄 (553) 9601 " 清水 克巳 (264) 4341 " 高橋 正博 (233) 1164 " 橋高 正風 (553) 3255
岡本 晃一 (862) 7541 富田 秀子 (564) 3470	広 報 委員会	1. 支部会報の企画・立案及び発行に関すること。 2. 社労士に必要なPRに関すること。	委 員 長 森 莞子 (233) 4488 副委員長 清水誠三郎 (263) 2281 " 石川 宏 (255) 7671 委 員 森 才一 (542) 6726 " 赤森 伸子 (543) 2069 " 島田 久 (862) 7068 " 牧野 武夫 (542) 8611 " 岩田 省一 (660) 3032
浦木 国賢 (242) 5301 大槻 哲也 (562) 3095	厚 生 委員会	1. 懇親会等の企画・立案開催に関すること。 2. 旅行会等レクリエーションに必要な企画・立案及び開催。 3. 会員のコミュニケーションに関すること。	委 員 長 石塚 武雄 (542) 5306 副委員長 田島 義雄 (572) 7481 " 新井 功一 (230) 1751 委 員 室町 弘幸 (279) 5920 " 小山 昇 (270) 5881 " 原田 利雄 (661) 6258 " 才木 惇 (261) 3198 "

順不同敬称略

千代田・中央支部第一部会、第二部会の機構と委員会

第一部会の機構について

第一部会長 相馬誠一(251) 5141 副部会長 大槻哲也(562) 3095 小口隆明(532) 1534
富田秀子(564) 3470

総務委員会 委員長 柏木弘文(295) 4651 副委員長 赤森伸子(543) 2069
委 員 雨宮 功(863) 7633 真許隆弘(241) 3449 吉瀬君江(534) 0294
横尾直子(234) 5274

業務推進委員会 委員長 恩田和明(256) 4451 副委員長 森萩忠義(865) 9521
委 員 渡辺和洋(574) 7572 目黒 健(866) 0635 金綱久夫(291) 4167
山崎雅也(669) 0677 豊岡来実(504) 2662

厚生委員会 委員長 新井功一(230) 1751 副委員長 国岡喜久(261) 5653
委 員 松井省二(552) 8425 渡邊やす江(574) 7572

第二部会の機構について

第二部会長 乗田芳信(265) 7516

運営委員会 委 員 岡本晃一(862) 7541 浦木国賢(242) 5301 田島 守(544) 2882
古川泰一郎(263) 1781 榊原昭夫(265) 2611 石川 宏(255) 7671
石塚武雄(542) 5306 田島義雄(572) 7481 渡辺源一郎(861) 7291

委員会報告

<総務委員会>

第一回 正副支部長、委員長、幹事会

5月6日、電設工業健保会館において開催された。協議された事項は、各幹事の職務分担、各委員会の活動方針、予算配分等を万場一致で決定した。特に1部受益者負担制度の拡大、第二部会に予算を計上し、その活性化をはかった。

第二回 正副支部長、委員長会

6月3日、正副支部長、委員長会議が開催。

議 題

(1) 報告事項

- イ. 東京都社会保険労務士会第9回通常総会の結果報告
- ロ. 各部会ならびに各委員会の活動状況について

(2) 協議事項

イ. 第2回研修会

と き 昭和62年7月1日(水) 13:30
ところ 電設工業健保会館
テーマ 算定基礎届の手続き他

- ロ. 次回の正副支部長、委員長、幹事会
会議、研修会、それに引続いての懇親
会は、都合により9月2日予定を変更

し、9月4日にしたい。

以上を協議し決定した。

<研修委員会>

第1回の研修会を、昭和62年6月3日(水)電設工業健保会館において、下記テーマにより開催された。なお出席者は64名でした。

テーマ 女性のトップマネジメント研究

講 師 亜細亜大学経営学部教授

馬場 房子 先生

<広報委員会>

4月20日(月)、電設工業健保会館において、新役員で編集会議を開催し、編集方針等について協議した。

- 1. 基本姿勢は従来のものを踏襲する。
- 2. 政連の記事を1頁程度のせていきたい。
- 3. 題字を新支部長にお願いし、タイムリ
ーな会報作りへ努力したい。

前委員長の

- 1. 会の運営活動
 - 2. 会社という社内報誌的なもの
 - 3. 関係者全体を対象とする部内報的なもの
- これら3つを、コーディネートされた会報誌。といわれたものを参考にしていきたい。

「抱 負」

総務委員長 古 川 泰 一 郎

総務委員会を担当することになり、早くも2ヶ月を経過しました。

その間、支部財政特に各部委員会への予算配分、東京会への代議員を含む支部役員人事等で各委員に多大のご苦勞をいただきました。

さて、本題に入りまして、本年の総務委員会における最大の課題は、支部財政確立であります。ここ数年、本部よりの交付金は全く増加しておりません。

一方、社会経済状況の急激な変化と、これに対応するための厚生、労働行政は、ますます多様化と細分化されそれがたび重なる法律改正となって参りました。

必然的にわれわれ社会保険労務士も、資質向上のための研修、実務処理の研究が求められ、年々、支部の事業が膨張して来ました。

従って、予算の範囲内で、事業内容を縮少するか、1部講習会、厚生事業に参加される方々の受益者負担をもって、赤字を補填し、従前以上の事業活動を行うかの選択となり、総務委員会は後者を探り入れた次第であります。

この結果として、今後の研修会、講習会、厚生事業等への出席率が低下しないように、各会員のご理解、ご協力を得られるように、積極的な広報活動を通じ、キャンペーンが必要なのではないかと考えております。

さらに、第二部会予算を計上したことによって、他の委員会、部会への影響が最小限度にとどまるよう、運営の知恵が総務委員会に課されたわけであります。

どうか会員の皆様も、状況をご賢察のうえご協力をお願いする次第であります。

「抱 負」

研修委員長 金 綱 久 夫



ひきつづいて研修委員長を担当することになりました。私達は東京会と連合会の行う研修を受ける義務がありますが(法第16条の3)、我が千代田・中央支部の研修は、その東京会の中核支部としての意識と自覚にもとづいた研修会を開いていきたいと思ひます。そのためには会員の意向を先取りした企画で、研修会に参加してよかったと思われるテーマと、講師を選定したいと思ひます。

これまでは社会労働諸法例や労務管理の専門知識、経済社会の一般常識、一芸に秀でた方の話等、各分野にわたって取りあげましたが、今期もこれらの分野について均衡を計りつつ、会員の資質の向上に役立つ研修を開きたいと思ひます。唯予算の都合があり、すべての企画を実現出来ないのは残念で、かつ担当の講師には、いつも薄謝で失礼しており恐縮しています。これも自分の仕事と思ひて割り切って交渉しています。

今期も、委員の期待に応え、支部長の名を高めるような研修会を運営していきたいと思ひます。御協力をよろしくお願ひします。

会 員 異 動 状 況

昭和62年5月31日現在

	62. 3. 23 現在			増 減			現 在 数		
	開 業	企業内等	合 計	開 業	企業内等	合 計	開 業	企業内等	合 計
麴 町	34	145	179	2	0	2	36	145	181
神 田	59	129	188	0	△ 6	△ 6	59	123	182
日本橋	31	122	150	1	△ 2	△ 1	32	120	152
京 橋	40	110	150	△ 1	△ 2	△ 3	39	108	147
合 計	164	506	670	2	△ 10	△ 8	166	496	662

「抱 負」

厚生委員長 石 塚 武 雄

さる3月26日の支部大会において引き続き、厚生委員の役を仰せつかった。3年目ともなれば、たいていのことはわかっているつもりだったが、さて、改めて抱負は？ と聞かれるとこれがよくわかっていない。

そもそも、厚生とは国でいえばまず第一に国民の福祉の向上と、二つには環境衛生の完備である。市町村とても同じであろう。これが会社の厚生課ともなると、健保、厚年、労働など社会保険の事務はもとより、生保の団保扱いやら損保の代理取次などから、一方、社員寮、社宅の管理までさまざまだ。また、労働組合などでは文化と厚生を一つにして文化的事業の紹介やら斡旋を行っているところが多い。

本来、文化的事業となれば、国でいえば文

化庁の主管だが、厚生ということを広義に解釈すれば厚く生きること、それには物質的な面のみに捉われず、心の豊かさも必要であろう。とにかく経済面だけだとどうしてもギスギスしてくる。物心ともに薄っぺらな生き方であっては、お寒い限りだ。昔から「衣食足って礼節を知る」という。心のゆとりを持つこと、これが人間関係において和を保つうえで最も大切な要素であると考えている。我が社会保険労務士会の千代田・中央支部では従来とも、会員間のコミュニケーションをはかってきた。文化的なものであれ、レクリエーションであれ、要は豊かな人間関係を創り上げることが広い意味での厚生ではなかろうかと考えている。

会員めぐり(1)

電設工業健康保険組合



電設工業健康保険組合のある番町は、昔の武家屋敷町で今はオフィス街である。会館は、地下鉄有楽町線麴町駅から徒歩1分に立地し、真向いには日本テレビのマイスタジオがあり、毎朝「ズームイン朝」の放映風景がみられる。

この組合は、電気工事および電気機械器具の製造販売を業とする事業所が集まり、昭和34年12月1日設立され、その後順調に発展を遂げ、現在の加入事業所数567件、被保険者数64,041人(昭和62年4月現在)で、家族を含めると14万人を超える大規模な組合である。

事業内容は、本来の健康保険の給付はもとより、近代的な保養所をはじめ運動場等の施



設を有し、各種の検診・体育事業を実施し、組合員の健康管理基地の役目を果たしている。

事務処理においても、財政的に大きなウエイトを占める医療費点検に重点をおき、医療費の適正支出を行ない、また、事務合理化のためのオンライン処理を導入している。

これからの事業構想として、従来の保健施設に加えて検査センター、トレーニングルーム、プール等にケアハウスのなものと、さらに宿泊施設などを設けた「総合健康管理センター」を建設して、21世紀へ向けての理想的な充実した健康管理の実現を考えております。

「あすの政連」

東京都社会保険労務士政治連盟

千代田・中央支部 幹事長 松 林 清 雄



今年は統一地方選があり4月19日告示、4月26日投票日で終わりました。

政連で初めて推薦した区市議員は、自民党2名、社会党1名、民社党1名と4名の方でした。

私共社会保険労務士に関係の深い各党の政策は、自民党は、30万の雇用開発などで、不況地域の経済活性化を図り、中小企業対策を推進。社会党は、大型減税、週休2日制を実施し、地域政策と一体となった緊急雇用対策を進める。民社党は、雇用開発促進法を制定し、労働者の再就職保障制度を創設する、等の主張でした。

こうした主張が実現出来るようにと、社会保険労務士に理解の深い候補者に、大槻哲也、古川泰一郎、富田秀子、松林清雄政連幹事は、手分けして4月18日、19日と自民党の、小美濃基二(武蔵野市)。小川広吉(調布市)。社会党の、富永克子(中央区)。民社党の、堀行隆(板橋区)。各選挙事務所へ、お酒2本と推せん書を持参し、1週間の選挙戦の激励をしてまいりました。

「賛同社労士推せん」、各氏が当選して頂く事を祈りながら、投票結果を待ち受けたものでした。

民社党以外、見事当選のお祝いが出来ました。民社党は、残念ながら次回の奮戦を望む事になりました。

振り返って見ると、選挙民の投票基準に、地元の関心ある問題。支持している政党。地元が推している人。と有権者の鋭い意識が、

票によってあらわれたと思います。

私共社会保険労務士にも組織があり、鋭い目が光っている事をPRして、議会に反映出来るよう努めたいものと思います。

あすの政連の行く方を考えて見るに、皆様の英知を、結果として政治と直結出来る委員会ではなくてはと、皆様1人ひとりがそれぞれの委員会に所属して頂き、職務分担をしてその意見が国会に届くよう、羽はたいていける夢を見ました。

1. 委員会

本会の事業を適切に、且つ敏速に遂行するため次の委員会をおくことができる。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 政策委員会 | ② 法規対策委員会 |
| ③ 財務委員会 | ④ 組織委員会 |
| ⑤ 国会対策委員会 | ⑥ 選挙対策委員会 |
| ⑦ 広報委員会 | ⑧ 情報収集委員会 |

2. 委員会の職務

前項に定める委員会は夫々の職務を行う。

- ① 政策委員会は、会の基本政策を企画立案する。
- ② 法規対策委員会は、法規の研究、解釈を行ないかつ企画立案する。
- ③ 財務委員会は、会の財務の確立強化と、健全な運営を図る。
- ④ 組織委員会は、会の組織活動を統一強化するための、諸施策をきめる。
- ⑤ 国会対策委員会は、会の事業完遂のため、国会活動の具体策をきめる。
- ⑥ 選挙対策委員会は、会の選挙対策を樹立し、立候補の推薦につき審査決定する。
- ⑦ 広報委員会は、会の目的達成のため、広報活動を強化推進する。
- ⑧ 情報収集委員会は、会の目的達成のため、内外の情報を収集する。



「富永克子をはげます会」で推薦状を伝達する
富 田 会 員



小川広吉候補の善戦風景

労働保険指導員の活動

総務委員会

本年度は、55名の労働保険指導員を推せんし、委嘱を受けました。中央労働基準監督署並びに、飯田橋公共職業安定所の申告書受理会場に於ける相談コーナー、又、未申告事業

場の実態調査に従事し活躍しています。

尚、相談コーナー担当の指導員は下記の通りです。

中央労働基準監督署

5/8 (金)	中尾 幸村	北野 茂		
5/11 (月)	柏木 弘文	山崎 雅也		
5/12 (火)	松林 清雄	浦和 憲二	佐々木俊也	
5/13 (水)	原田 利雄	国岡 喜久	渡辺 和洋	
5/14 (木)	内藤 治男	渡邊やす江	吉瀬 君江	赤森 伸子
5/15 (金)	吉野 俊雄	小口 隆明	千賀 綾二	川吉 昭子
6/10 (水)	金綱 久夫	豊岡 来実		
6/11 (木)	真許 隆弘	石川 英豊	(順不同敬称略)	

飯田橋公共職業安定所

5/14 (木)	新井 功一	山崎 雅也	
5/15 (金)	恩田 和明	町口政二三	(順不同敬称略)

労働保険説明会

総務委員会

会 場 千代田区大手町 1-3-1
大手町合同庁舎 1 号館 4 F
中央労働基準監督署 会議室

第33回 昭和62年 6 月 2 日

講 師 中央労働基準監督署

給付調査官 相良 容子 氏

会 員 大槻 哲也 豊岡 来実

出席事業所 16

あ と が き

広報委員長 森 莞 子

東京会会長、当支部支部長もそれぞれ杉元一郎氏、仲野三郎氏となり新年度になりました。広報委員会もメンバーを一新し、新しい企画を模索しながら2年間つとめます。

今月号は、年度始めのため紋切り形の編集になったくらいがありますが、次号より東京会、連合会はもとより、政連支部とも歩調をあわせ、ユニークな紙面作りに励みたいと思

いますので、絶大なるご協力をお願いします。



新旧引継ぎ風景